



誇りに思う心を育てるESD

ふるさと只見を愛し、



## 只見町教育委員会

福島県南会津郡只見町



### ふるさとの良さを学び、 課題を見つめ、 未来を切り拓く力へ

【ブナと生きるまち 雪と暮らすまち 心豊かに生きるまち】  
を町の理念とし、自然首都只見宣言をしました。また、平成26年にはユネスコエコパークに登録され、町内の3小学校と1中学校はユネスコスクールとなりました。それぞれの地域の特性と良さを生かしながら、ふるさと只見愛を育み、ふるさとの豊かな存続に寄与できる人材を育てる教育と考え、ESDの実践を通して地域を愛し、誇りに思う子ども育成を目標に取り組んでいます。

#### ■組織・団体に取り組む課題(テーマ)[SDGs]



写真について  
上: 川の学習 朝日小  
下左: 地域の方と学びを共有  
下中: 本物を見て学ぶ  
下右: 中学生がエコフレンドリーを提案

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字  
町下2591-30  
電話 0241-82-5320  
FAX 0241-82-2337  
E-mail bunka@town.tadami.lg.jp  
URL <https://www.town.tadami.lg.jp/information/education/index.html>



### 活動紹介

## 町内小中学校のESD



専門的な知識を得る場がここにある



生徒・教師・保護者が学びを共有

### プロジェクト概要

町内の学校は全てコミュニティスクールであり、只見小学校でも只見学(只見の「人・もの・こと」)を学びます。地域の食材を生かし、伝統的な食べ物に新たな視点を持って、持続可能な食文化について学ぶ時間を確保しています。明和小学校の場合は生活科、総合的な学習の時間を中心にこれまでに培ってきたESDの成果を自然、環境、歴史、文化など多様な角度から学習を展開しています。明和地域の人々に協力を得ながら、伝統芸能である神楽や田植え稲刈りを体験することができました。只見中学校は地域とともに学ぶ生徒の育成を念頭に置いてESDを実践しています。総合的な学習の時間を軸として教科横断的な学習プログラムを展開しています。特に新聞紙レジ袋の作成と利用を地域とともに実践することで、社会に貢献するだけでなく、俯瞰的なものの見方、考え方ができることを目標としています。

### ESD実践のポイント

各小学校では学びの羅針盤として、ESDストーリーマップを作成しています。ストーリーマップは昨年の実践を元にブラッシュアップを重ねて、より良い学びに繋げています。朝日小学校は、児童の気づき、考えを反映する手法に取り組んでいます。今年度はこのブラッシュアップのために教室内の掲示板にストーリーマップを掲示し、学びごとに児童たちがどのような考えを持ったのか、どのような学びをしたのかを付箋のように貼りつける活動によって、教師、児童の振り返りが容易になり、次の課題も誰もが共有しやすいものとなりました。保護会に来た保護者であっても、今学校でどのようなことについて学び、今後どのような取り組みをするのかを、すぐに理解できます。児童の課題を地域全体で解決するホールスクールアプローチの好例として、自信を持って紹介できます。

### 担当者からのメッセージ

毎年11月にはESD研究公開授業が、また2月には地域成果発表会が行われます。オンラインも含めるとたくさんの方に見ていただくことができるため、子どもたちもやりがいを持って取り組んでいます。毎年学びを積み重ね、只見愛に繋がっている様子を感じることができます。大人顔負けのプレゼンテーションは、大変頼もしい限りです。



只見町教育委員会  
文化スポーツ係 目黒 英樹さん